

澤村 ココナ社と総代理店契約

「37・5 テクノロジー」

澤村は 10 日、米国ココナ社と、ココナ社が販売する吸水速乾糸「37・5 テクノロジー」（以下 37・5）の日本国内販売総代理店契約を結んだと発表した。

スポーツ分野を中心に拡販し、原糸、テキスタイルの両方で初年度 7000 万円、2 年目 1 億 5700 万円、3 年目 3 億円の販売を見込む。

37・5 は火山性鉱物の活性微粒子をポリエステルに練り込んだもので、高い吸汗速乾性が最大の特徴。繊維の表面積を一般的な合成繊維と比べて約 8 倍に増やし、ほかのどの技術とも異なった独自の方法で水蒸気を取り除く。皮膚と接地した衣服内の気候を最適な湿度に保ち、効率よく理想的な体温を維持するため、スポーツウェアが主な拡販対象となる。

澤村は今回の代理店契約以前から同原糸を輸入しており、ゴールドウイン「ノースフェイス」やワコールなどへの納入実績がある。ゴールドウインは 14 春夏向け商品でノースフェイス以外の全ブランドで同原糸を使った商品の横軸展開をスタートしている。

今後はスポーツ向け以外に寝装や資材など他分野へも販促を進めていくほか、原糸、テキスタイルだけでなく、将来的には縫製品展開も視野に入れる。

なお、日本市場向け製品であれば海外での織り・編みも可能なことから、15 春夏向けとしてタイ現地法人を活用したモノ作りも進めている。

37・5 の旧名は社名と同じ「ココナ」。8 年前にデビューし、ココナツの殻、廃棄材から開発していたが、糸の白度が出ないことから、同様の効果が得られる鉱石を原料とする方向へと徐々にシフトしてきた。

さらにこのほど、「トロピカルイメージが先行してスポーツなどに拡販しにくい」として、ココナ社がこのほど改名に踏み切った。澤村とココナ社の契約は昨年 7 月だが、契約先のブランド名変更を待って、今回の発表とした。